

信州の 高規格道路

連携を深める
交通ネットワーク

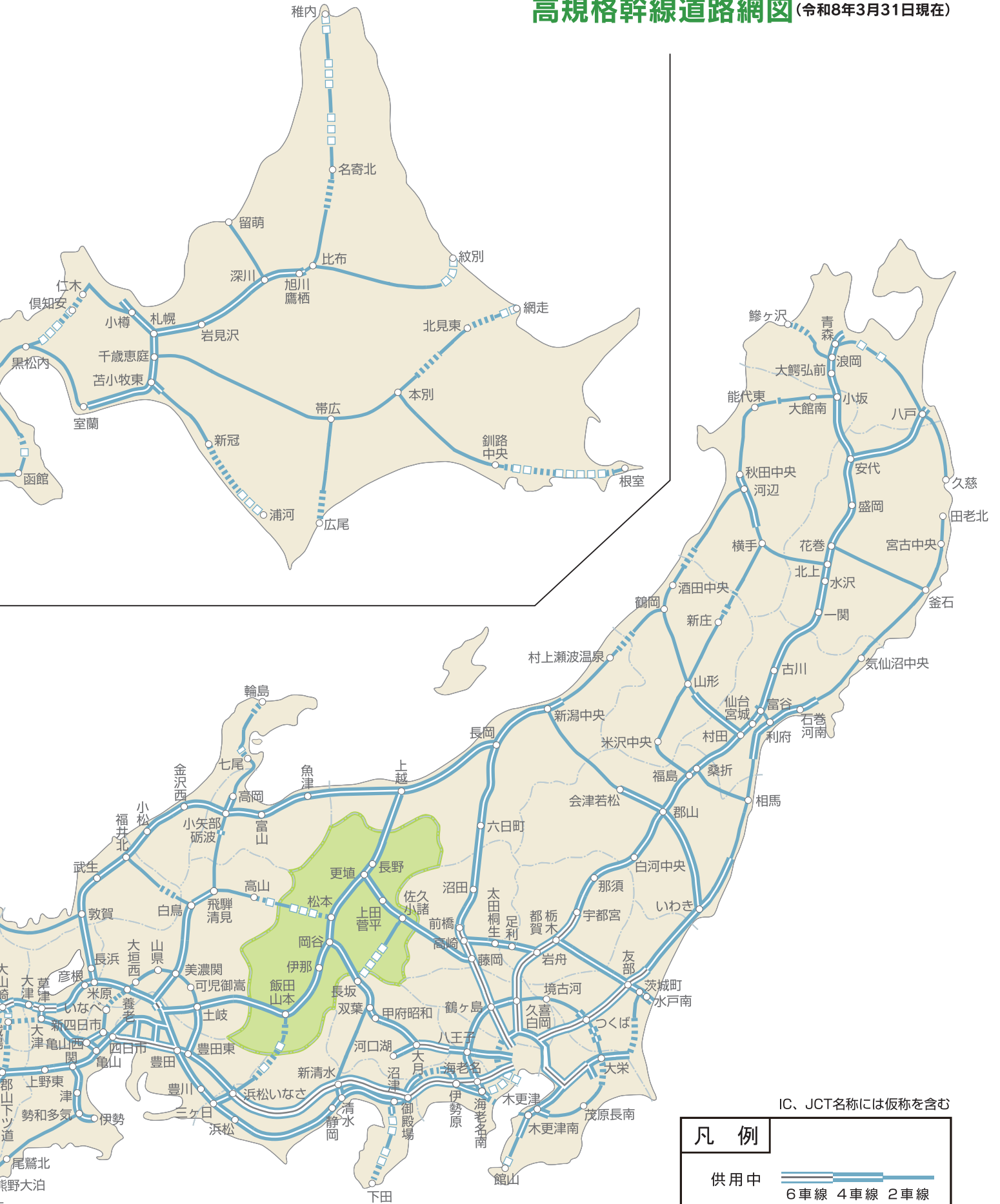


長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

三遠南信自動車道 飯橋道路 4号橋(喬木村)

長野県建設部

高規格幹線道路網図 (令和8年3月31日現在)

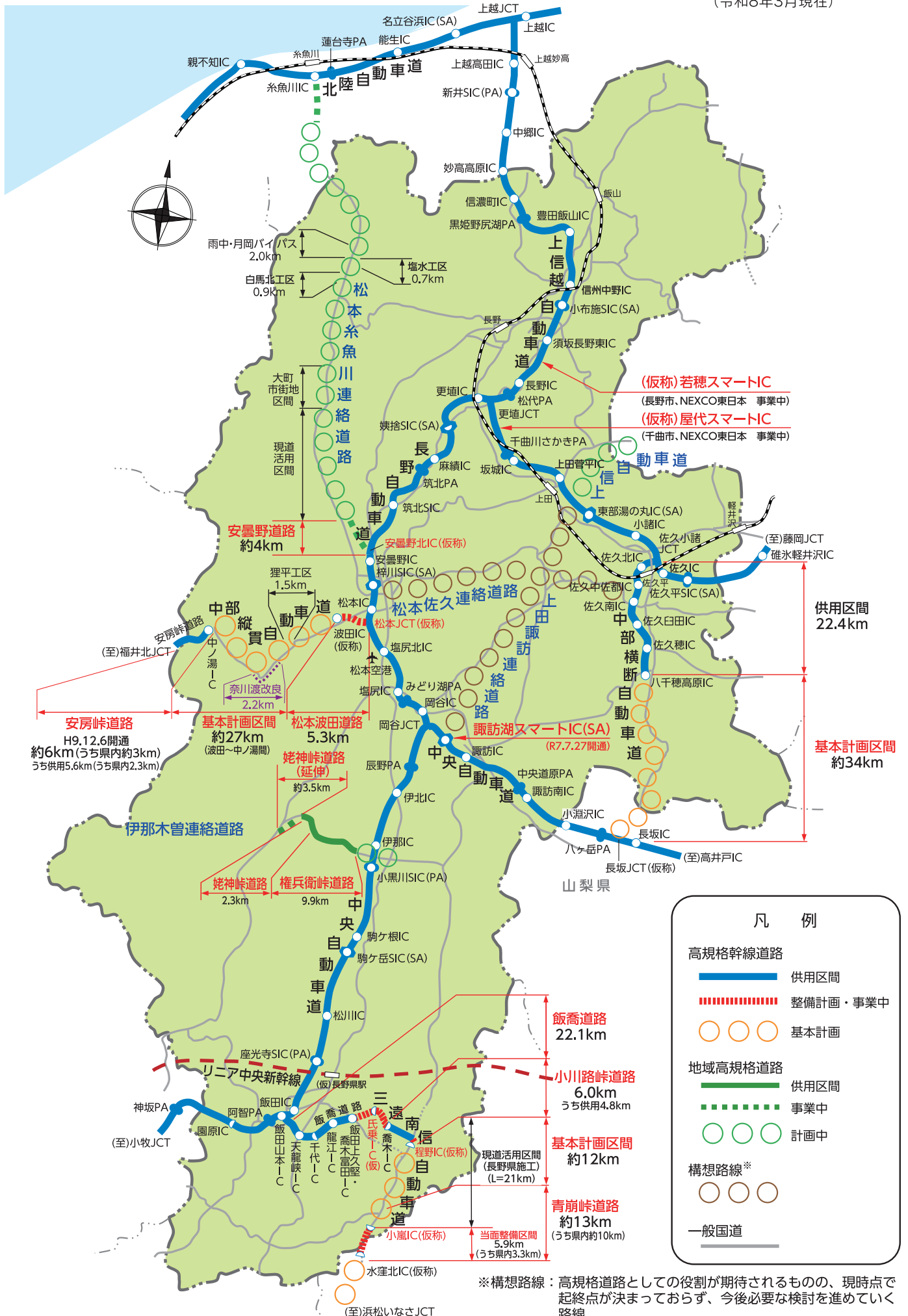


IC、JCT名称には仮称を含む

凡例	
供用中	 6車線 4車線 2車線
事業中	
調査中	

高規格道路の状況について

(令和8年3月現在)



(仮称)若穂スマートIC
(長野市、NEXCO東日本 事業中)
(仮称)屋代スマートIC
(千曲市、NEXCO東日本 事業中)

供用区間
22.4km

基本計画区間
約34km

凡 例

- 高規格幹線道路
 - 供用区間 (Solid blue line)
 - 整備計画・事業中 (Red dashed line)
 - 基本計画 (Orange circles)
- 地域高規格道路
 - 供用区間 (Green dashed line)
 - 事業中 (Green dashed line)
 - 計画中 (Green circles)
- 構想路線※ (Brown circles)
- 一般国道 (Grey line)

※構想路線：高規格道路としての役割が期待されるものの、現時点で起終点が決まっておらず、今後必要な検討を進めていく路線

整備済の路線

県内では、中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道が全線供用され、多くの分野にストック効果をもたらしており、県民生活に不可欠な社会インフラとなっています。

E18 上信越自動車道

上信越自動車道は、関越自動車道藤岡 JCTと北陸自動車道上越 JCTを連絡する延長約203km(うち県内約111km)の高速自動車国道として、平成11年度に全線開通しました。

この自動車道は、関越・中央・長野・北陸・中部横断自動車道と連絡して高速交通ネットワークを形成するとともに、首都圏と上信越地方を結ぶ動脈として沿線地域の産業、経済、文化、観光の発展や、災害時の代替性確保を図るうえで大きな役割を担っています。

信濃町 IC から上越 JCT 間で進められてきた4車線化事業が、令和元年12月に完了し全線4車線となりました。

IC名	妙高高原 IC	信濃町 IC	豊田飯山 IC	信州中野 IC	小布施 S IC	須坂長野東 IC	長野 IC	更埴 JCT	坂城 IC	上田菅平 IC	東部湯の丸 IC	小諸 IC	佐久小諸 JCT	佐久 IC	佐久平 S IC	碓井軽井沢 IC
区間距離	5.1	13.2	7.7	4.7	6.8	9.9	6.0	14.1	7.9	8.3	6.5	9.3	1.5	3.0	15.8	
区間供用	H9.10.16		H7.11.30		H5.3.25		H8.11.14			H7.11.7		H5.3.27				



新潟県境の「れいめい橋」

E19 長野自動車道

長野自動車道は、岡谷 JCT と更埴 JCT を繋ぐ延長約76kmの高速自動車国道です。中央自動車道と上信越自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、太平洋や日本海沿岸地域を繋ぐ動脈として、沿線地域の産業、経済、文化、観光の発展や、災害時の代替性確保を図るうえで大きな役割を担っています。

IC名	更埴 JCT	更埴 IC	姨捨 S IC	麻績 IC	筑北 S IC	安曇野 IC	梓川 S IC	松本 IC	塩尻北 IC	塩尻 IC	岡谷 IC	岡谷 JCT
区間距離	0.9	11.5	7.1	9.0	14.2	上り4.4 下り3.2	上り2.9 下り4.1	8.2	6.7	7.2	3.7	
区間供用	H5.3.25				S63.8.3		S63.3.5		S61.3.25			



姨捨SA(下り)から善光寺平を望む

E19 E20 中央自動車道

中央自動車道は東京都と愛知県小牧市を結ぶ、延長約367km(うち県内約122km)の高速自動車国道です。

首都圏と中京圏を繋ぐ大動脈であり、長野自動車道とともに、日本海岸地域を含む広域交通ネットワークを形成し、物流確保や広域観光の開発等、産業経済の振興や災害時の代替性確保において重要な役割を担っています。

IC名	中津川 IC	園原 IC	飯田山本 IC	飯田 IC	座光寺 S IC	松川 IC	駒ヶ岳 S IC	駒ヶ根 IC	小黒川 S IC	伊那 IC	伊北 IC	岡谷 JCT	諏訪湖 S IC	諏訪 IC	諏訪南 IC	小淵沢 IC
区間距離	22.0	9.6	5.2	6.9	8.6	12.0	3.3	12.2	2.9	9.6	13.9	4.1	6.0	11.1	12.4	
区間供用	S50.8.23					S51.9.18				S56.3.30						



諏訪IC付近から八ヶ岳方面を望む

事業中・調査中の路線

高規格幹線道路による広域ネットワークの構築に向け、供用中の路線に加え県内では、中部横断自動車道、三遠南信自動車道、中部縦貫自動車道の調査・建設が国土交通省により進められています。

E52 中部横断自動車道

ストック効果



中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点として、山梨県甲斐市を經由し小諸市に至る延長約140km(うち県内約50km)の高速自動車国道として整備が進められています。

新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、太平洋や日本海の臨海地域を含む沿線地域間の連携・交流の促進、広域観光圏の形成による観光振興や、災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

■進捗状況 ():仮称

IC名	新清水JCT	富沢IC	南部IC	身延山IC	下部湯澤川IC	中富IC	六郷IC	増穂IC	南ルブスIC	白根IC	双葉JCT	(長坂)JCT	八穂高原IC	佐久穂IC	佐久田IC	佐久南IC	安中佐都IC	佐久北IC	佐小諸JCT
区間距離(km)	20.7	6.7	13.2	8.4	9.3	6.2	3.0	6.8	中央道と重用	約40	H9.2	14.6	H3.12	H10.12	H8.12	H3.12	H8.12	H3.12	H8.12
基本計画			H3.12					H元.2											
整備計画			H8.12					H3.12											
施工命令	H10.12		※			H10.12		H5.11											
区間供用	H31.3	R元.11	R3.8	H31.3	H29.3	H18.12	H16.3	H14.3					H30.4					H23.3	

※道路関係四公団民営化に伴い新直轄方式に切り替えられた区間



八千穂高原IC付近

E67 中部縦貫自動車道

ストック効果



中部縦貫自動車道は、松本市を起点として、岐阜県高山市を經由し福井県福井市に至る延長約160km(うち県内約35km)の一般国道自動車専用道路(国道158号)として整備が進められています。

長野自動車道、東海北陸自動車道及び北陸自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、広域観光圏の形成による観光振興や、物流確保、災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

■進捗状況 ():仮称

IC名	福井北JCT	松岡IC	垂寺参道IC	永平寺IC	上志比IC	勝山IC	大野IC	荒島IC	九頭竜IC	(油井出入)	白鳥西IC	白鳥JCT	飛騨清見JCT	高山西IC	高山IC	(丹生川)IC	(久手)IC	平湯IC	(中ノ湯)IC	(波田)IC	(松本)JCT
区間距離(km)	2.2	1.8	1.4	5.3	7.9	7.8	5.5	14.0	15.5	8.2	3.1	東海北陸道と重用	8.7	6.5	9.5	約7	5.6	5.6	約27	5.3	
事業名	永平寺大野道路				大野油坂道路				油坂峠道路		東海北陸道と重用		高山清見道路		高山東道路		安楽峠道路		松本波田道路		
基本計画	H2.11		H元.8				H9.2	H元.8						H元.8	H9.2	H元.8	H9.2	H元.8	H9.2	H3.12	
整備計画	H5.7		H2.11			H27.4	H21.3	H24.4	H元.8	H2.11				H5.7	調査中	R6.3	H元.8	調査中	H12.4		
区間供用	H27.3	H5.6	H19.3	H29.7	H21.3	H25.3	R6.3	R5.10	事業中	H11.4	H11.1			H16.11	H19.9	事業中		事業中	H9.12	事業中	



新村高架橋 工事中(松本市)

E69 三遠南信自動車道

ストック効果



三遠南信自動車道は、飯田市を起点として、愛知県東部を經由し静岡県浜松市に至る延長約100km(うち県内約50km)の一般国道自動車専用道路(国道474号)として整備が進められています。

中央自動車道、新東名高速道路を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、南信州と東三河・遠州地域の結びつきをさらに深め、産業、観光の振興や災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

■進捗状況 ():仮称

IC名	飯田山本IC	天龍峡IC	千代IC	龍江IC	飯田上久堅	飯田上久堅	(氏兼)IC	喬木IC	(程野)IC	(小風)IC	(水窪北)IC	(水窪)IC	佐久間IC	安間川合IC	浦川IC	東栄IC	鳳来峡IC	浜川寺野IC	浜松いなさJCT
区間距離(km)	7.2	4.0	3.4	7.5	6.0	約21	5.9	約7	14.0	6.9	7.1	13.4	0.5						
事業名	飯喬道路				小川路幹線道路		青柳峠道路		佐久間道路・三遠道路										
基本計画	H2.11				H元.8	H9.2	H元.8	H5.7											
整備計画	H9.2				H元.8	調査中	H元.8	調査中	H31.3										
区間供用	H20.4	R元.11	H30.3	事業中	H6.3	事業中		事業中						H31.3	R8.3	H24.3	H24.4		



飯喬道路 2号トンネル 工事中(喬木村)

松本糸魚川連絡道路

松本糸魚川連絡道路は、長野県松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100km（うち県内約80km）の地域高規格道路です。

長野自動車道や北陸自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成し、産業の活性化や災害時の道路の信頼性向上に寄与するものと期待されます。平成20年度に県内全線の整備方針をまとめ、各種調査や概略ルートの検討を進めています。

安曇野市新設区間である「安曇野道路」は、令和4年度に事業化し、整備を進めています。（R8.1～工事に着手）

また、大町市街地区間では令和7年度にルート線を公表しました。



安曇野道路完成イメージ図（三川合流部付近）

伊那木曾連絡道路

伊那木曾連絡道路は、伊那市から木曾町に至る延長約20kmの地域高規格道路です。平成17年度までに権兵衛峠道路と姥神峠道路の一部が開通し、これまで伊那市から木曾町福島まで約90分要していた時間が約45分に大きく短縮されました。国道19号の迂回路として大きな役割を果たしているほか、交流の拡大により両地域の産業発展に大きく寄与しています。

姥神峠道路（延伸）区間について令和3年度に事業化し、整備を進めています。



姥神峠道路（延伸）区間イメージ図

上信自動車道

上信自動車道は、群馬県渋川市から長野県東御市に至る延長約80km（うち県内約15km）の地域高規格道路です。関越自動車道や上信越自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成し、群馬・長野両地域の交流促進が図られ、地域活性化が期待されます。群馬県内では整備が順次進んでおり、県境部については概略ルートの検討を進めています。



県境部（鳥居峠）を望む

スマートインターチェンジ(スマートIC)

既存の高速道路の有効活用や、地域生活の利便性向上、地域経済の活性化を推進するため、低コストで建設・管理が可能なスマートICを、県内では市町村が主体となって整備を進めています。

長野県内では、小布施、佐久平、姨捨、梓川、筑北、小黒川、駒ヶ岳、座光寺、諏訪湖の計9箇所が供用しています。また、(仮称)若穂、(仮称)屋代の2箇所において事業が進められています。

供用中の箇所

スマートIC名	連結位置	供用年月日
小布施	上信越自動車道 小布施町(小布施PA)	平成18年10月1日
佐久平	上信越自動車道 佐久市(佐久平PA)	平成19年4月1日
姨捨	長野自動車道 千曲市(姨捨SA)	平成18年10月1日
梓川	長野自動車道 安曇野市、松本市(梓川SA)	平成22年11月27日
筑北	長野自動車道 筑北村(本線直結)	令和5年12月17日
小黒川	中央自動車道 伊那市(小黒川PA)	平成29年9月30日
駒ヶ岳	中央自動車道 駒ヶ根市(駒ヶ岳SA)	平成30年3月17日
座光寺	中央自動車道 飯田市(座光寺PA)	令和3年3月28日
諏訪湖	中央自動車道 岡谷市、諏訪市(諏訪湖SA)	令和7年7月27日

事業中の箇所

スマートIC名	連結位置	事業着手年度
(仮称)若穂	上信越自動車道 長野市(本線直結)	令和2年度
(仮称)屋代	上信越自動車道 千曲市(本線直結)	令和5年度



諏訪湖スマートIC(岡谷市・諏訪市 中央自動車道)



編集・発行

長野県建設部 道路建設課

〒380-8570 長野県長野市南長野幅下 692-2

電話 026-232-0111 (代表) 026-235-7304(直通)

FAX 026-235-7391

Mail michiken@pref.nagano.lg.jp



令和8年(2026年)3月発行